

# 企画競争実施の公示

次のとおり、企画提案書の提出を招請します。

なお、本業務に係る契約の締結は、当該業務に係る令和8年度予算が成立し、予算示達がなされることを条件とするものです。

令和8年2月27日

支出負担行為担当官

札幌開発建設部長 平山 大輔

## 1 業務概要

### (1) 業務名及び業務概要

札幌開発建設部管内 北海道総合開発計画推進に係る資料作成外

本業務は、第9期北海道総合開発計画推進に資する空知地域及び石狩地域の「地域づくり推進ビジョン」のフォローアップとして、施策の進捗状況に係る資料作成及び「地域づくり連携会議」での地域の意見を集約するための会議運営補助を行うものである。

また、当部が取り組んでいる「かわたびほっかいどう」や「シーニックバイウェイ北海道」、「わが村は美しく～北海道」等との共創の取組を網羅的かつ一元的に把握するための「さっけん共創MAP（仮称）」を作成するものである。

### (2) 業務内容

ア 作業計画

イ 地域づくり推進ビジョンのフォローアップに向けた資料作成及び地域づくり連携会議運営補助

ウ さっけん共創MAP（仮称）の作成

エ 報告書作成

(3) 履行期間 令和8年4月15日 から 令和9年2月26日 まで

### (4) 電子調達システム（GEP S）の利用

本件は、企画提案書の提出、特定通知等の手続き等を電子調達システムで行う対象案件である。なお、電子調達システムにより難しい場合は、紙方式参加願（別記様式1）を提出するものとする。

## 2 企画競争参加資格要件

(1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当して、ない者であること。

(2) 令和07・08・09年度国土交通省競争参加資格（全省庁統一）「役務の提供等」において、北海道地域の競争参加資格を有する者であること。

また、競争参加資格のない者は、企画提案書提出時までに競争参加資格の決定を受けていること。

(3) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立がなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立がなされている者でないこと。

また、更生手続開始の決定を受けた者又は再生手続開始の決定を受けた者は、次に掲げる書類を提出していること。

ア 更生手続開始決定書又は再生手続開始決定書（写し）

イ 許可決定等に伴い、定款、役員等に変更があった場合は、競争参加資格審査申請書変更届

- (4) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省公共事業等からの排除要請があり、当該状態を継続している者でないこと。
- (5) 北海道開発局長から指名停止を受けている期間中でないこと。
- (6) 電子調達システムから説明書等を直接ダウンロードした者であること、又は支出負担行為担当官から説明書等の交付を受けた者であること。
- (7) 業務実績に関する要件  
平成28年度以降（令和7年度に完了予定であるものを含む。）に以下に示す「同種又は類似業務」を1件以上履行した実績があること。
  - ・「同種業務」：北海道における国が発注した地域協働に係る業務 又は  
北海道における国が発注した地域連携に係る業務
  - ・「類似業務」：北海道における地域協働に係る業務 又は  
北海道における地域連携に係る業務

### 3 手続等

#### (1) 担当部局

〒060-8506 札幌市中央区北2条西19丁目

北海道開発局 札幌開発建設部 契約企画課 調達スタッフ

電話 011-611-0269 電子メール：hkd-sp-choutatsu@gxb.mlit.go.jp

#### (2) 説明書の交付期間及び方法

##### ア 交付期間

令和8年2月27日 から 令和8年3月11日 まで（土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、8時30分から17時15分まで。）

##### イ 交付方法

電子調達システムにより交付する。

ダウンロード方法は、操作マニュアルを参照すること。

（説明書等に対する質問があった場合の回答についても同様にダウンロード機能により交付するので、ダウンロードの際に「更新通知メールの配信を希望する」に必ずチェックを入れること。）

また、電子調達システム未導入であっても、インターネット環境があれば交付を受けることが可能である。ただし、やむを得ない事由により電子調達システムによる交付を受けることが困難な場合は上記(1)に問い合わせること。

#### (3) 電子調達システムのURL

<https://www.p-portal.go.jp/pps-web-biz/>

※システムの都合上「企画競争」については、電子調達システムの「公募型プロポーザル機能」において掲載している。

#### (4) 企画提案書の提出期限、場所及び方法

##### ア 提出期限

令和8年3月11日 12時00分

##### イ 提出方法

電子調達システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合及び紙方式参加願（別記様式1）を提出した場合においては、原則として上記(1)に記載のアドレスあてに電子メールにより提出すること。

#### (5) 企画提案に関するヒアリングの有無、日時及び場所

ヒアリングは実施しない。

### 4 その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 関連情報を入手するための照会窓口 3(1)に同じ。

- (3) 企画提案書の作成及び提出に要する費用は、提案者側の負担とする。
- (4) 提出された企画提案書は、当該提案者に無断で2次的な使用は行わない。
- (5) 企画提案書に虚偽の記載を行った場合は、当該企画提案書を無効にするとともに、記載を行った提案者に対して指名停止の措置を行うことがある。
- (6) 特定した提案内容については、行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成11年法律第42号）に基づき、開示請求があった場合、あらかじめ「開示」を予定している書類とする。
- (7) 企画提案書を特定された提案者は、企画競争実施の結果、最適な者として特定したものであるが、会計法令に基づく契約手続の完了までは、国との契約関係が生じるものではない。
- (8) その他の詳細は説明書による。